

次世代の科学技術を担う人材の育成

愛知・名古屋が、我が国経済の牽引役として、しっかりと役割を果たしていくためには、イノベーションを継続的に生み出していくことが必要であり、将来を担う若い世代を始め、科学技術分野の人材育成を図っていくことが重要な課題となっています。

また、世界的な都市間競争が激化する中で、多くの人々を、この地域に呼び込んでいくためには、愛知・名古屋の先進性や魅力を国内外に広く発信していく必要もあります。

こうした中、世界的な学術栄誉であるノーベル賞について、愛知・名古屋ゆかりの受賞者は 21 世紀に入ってから 8 名となり、ノーベル賞といえば、愛知・名古屋というイメージも広まりつつあります。

こうした認識のもと、愛知県と名古屋市では、次代の科学技術を担う人材育成を図るとともに、科学技術やイノベーションの先進地としての愛知・名古屋の魅力発信や、地域の誇りの醸成を図るため、ノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を 2021 年 3 月、名古屋市科学館内に整備・オープンしました。

この施設では、子ども達に、受賞者の偉大さや、新たな発見・発明の喜び・感動を直感的かつ分かりやすく伝え、将来、科学者や技術者になる夢を抱くことができるような展示を目指しています。

